

# 農作物病害虫発生現況情報（6月） ねぎ編

## 1 さび病

- (1) 6月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（図1）。
- (2) 現地では、一部圃場で発生が確認されている。

## 2 べと病

- (1) 6月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（図2）。
- (2) 現地では、一部圃場で発生が確認されている。

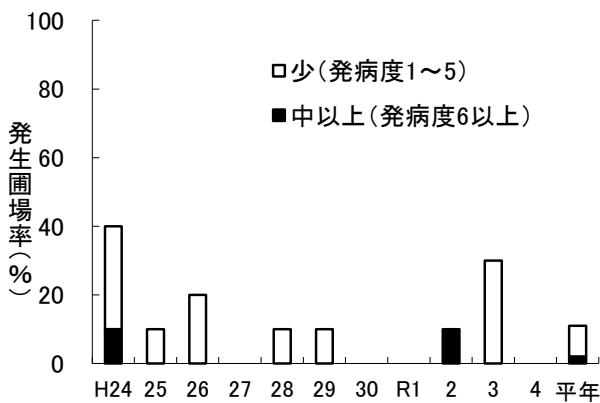


図1 さび病の発生圃場率の年次推移 (6月下旬)

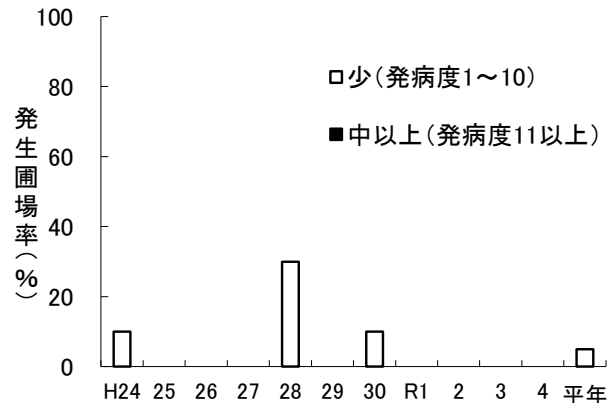


図2 べと病の発生圃場率の年次推移 (6月下旬)

## 3 黒斑病・葉枯病

- (1) 6月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（図3）。

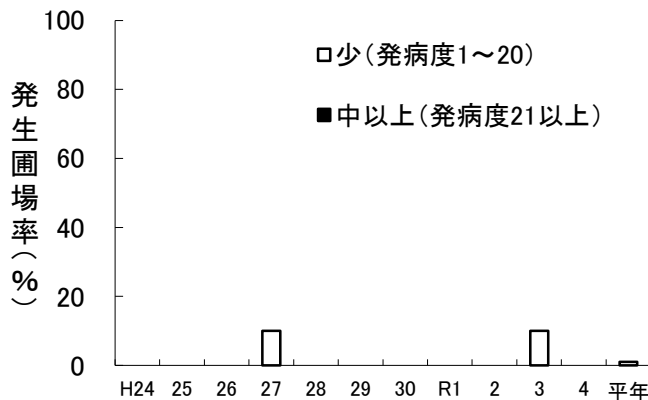


図3 黒斑病・葉枯病の発生圃場率の年次推移 (6月下旬)

#### 4 ネギコガ

(1) 6月下旬の巡回調査では、発生圃場率は40.0%（平年40.4%）であり、平年並だった（図4）。

(2) 時期別の被害葉率は、6月上旬・下旬ともに平年より低かった（図5）。

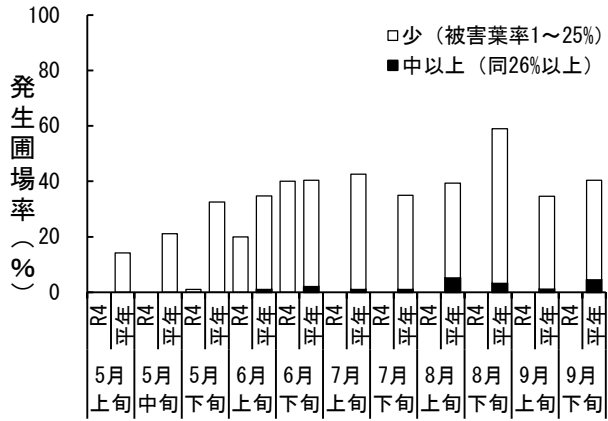


図4 ネギコガの発生圃場率の時期別推移

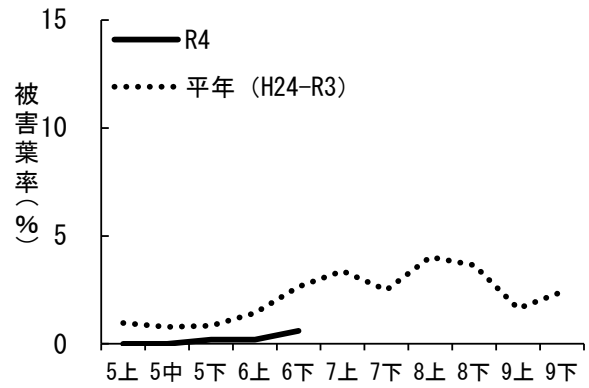


図5 ネギコガによる被害葉率の時期別推移

#### 5 ネギハモグリバエ

(1) 6月下旬の巡回調査では、発生圃場率は10.0%（平年49.6%）で平年より低く、被害度中以上の圃場は確認されなかった（図6）。

(2) 時期別の被害度は、6月上旬・下旬ともに平年より低かった（図7）。

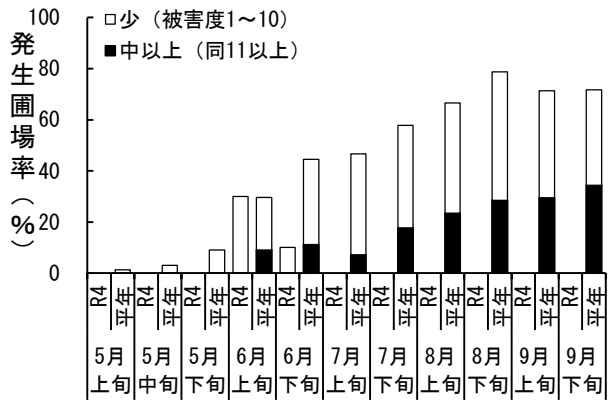


図6 ネギハモグリバエの発生圃場率の時期別推移

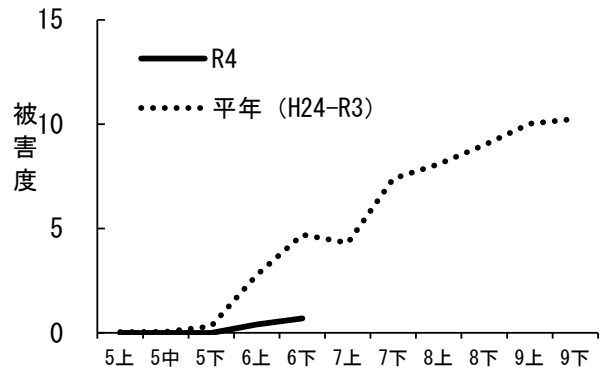


図7 ネギハモグリバエによる被害度の時期別推移

【被害度】調査株の被害程度を甚・多・中・少・無の5段階で評価し、次式により算出

$$\text{被害度} = \frac{(\text{甚の株数} \times 4 + \text{多の株数} \times 3 + \text{中の株数} \times 2 + \text{少の株数})}{(\text{調査株数} \times 4)} \times 100$$

## 6 ネギアザミウマ

- (1) 6月下旬の巡回調査では、発生圃場率は100.0%（平年87.0%）で平年よりやや高かったが、被害度中以上の圃場率30.0%（平年44.7%）であり平年より低かった（図8）。
- (2) 時期別の被害度は、6月上旬は平年並だったが、6月下旬は平年よりやや低くなった（図9）。

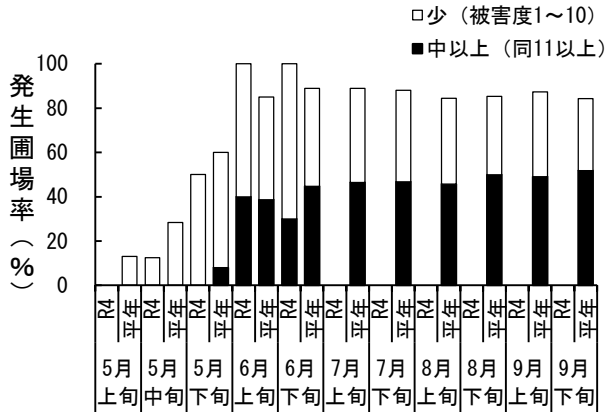


図8 ネギアザミウマの発生圃場率の時期別推移

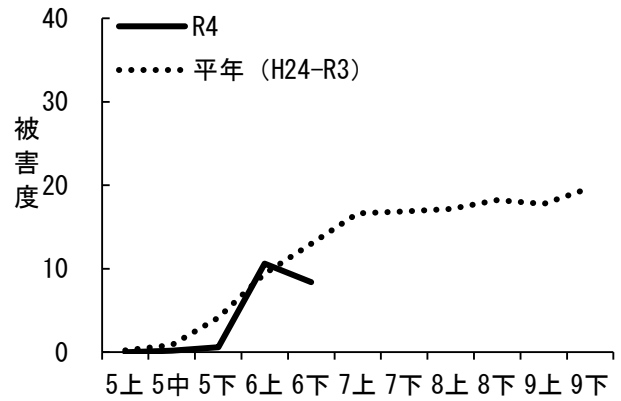


図9 ネギアザミウマによる被害度の時期別推移